

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年 9月 18日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3491900142		
法人名	医療法人社団 岡崎医院		
事業所名	ふれあいの家 えんや		
所在地	広島県三次市十日市西三丁目13番1号 (電話) 0824-65-0722		
自己評価作成日	令和5年8月15日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3491900142-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3491900142-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年9月14日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

法人の理念である「その人らしく 生きる力に寄り添うチカラ」を念頭に、ご本人の思い・家族の意向をききながらその人らしく自立した生活を送って頂けるようにカンファレンス・振り返りを徹底することでケアの統一を図っている。その方の今までの生活を理解しながら、持っておられる力が発揮でき、楽しみのある生活を送っていただけるようにそれぞれの役割や活動、行事を大切にしている。法人のバックアップ体制により、事業所のみでのケアにとらわれず医師・看護師・リハビリ専門職・管理栄養士等の多職種との連携、また外部の関係機関とも助言や情報提供等関係づくりを行い、安心して生活して頂けるよう体制を整えている。また「地域とともに、地域のために」の基本理念のもと、行事や外出、活動を通じて地域の方と交流を図り、関係を築いていくことで認知症に対する理解を深めて頂けるよう取り組んでいる。認知症の方々が地域で暮らしていく事ができるような町づくりを目指し、人とのつながりやお互いが支えあえる関係を大切に「地域と共に生きる」ということに取り組んでいる。また労働環境改善の取り組みとしてノーリフティングケアを取り入れ継続している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

最近の事業所における特徴的な取り組みとしてコロナ禍での個別ケアを見直し、個別支援の強化に取り組んでいる。即ち、利用者の個別的生活空間（居室・ホール・地域等の居場所作り）の再編成として、従来のテレビを中心とした固定席からホールに出てきた順の席に座り、少しずつ視線の中で好きな方向に向いて食事ができるよう支援している。コロナ禍により利用者の生活空間が狭まり、その閉じこもりがちな生活の弊害も考慮して利用者を理解しコロナ禍の中、役割・嗜好品・楽しみ事・気分転換等、張り合いや喜びのある生活作りを支援している。又、ノーリフティングケア（抱えない介護）の取り組みも3年を迎え、現場から底上げを図るべく法人理事長直轄の委員会を立ち上げ、毎月一回系列事業所の進捗状況を検証し、定着に努めている。

自己評価	外部評価	項目( ひだまり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人理念を玄関に掲示し意識できるようにしている。</li> <li>職員は理念に基づいた個人目標を立て日々のケアにあたっている。また朝のミーティング時にその日の利用者支援の目標を各スタッフが発表してからケアを行っている。</li> </ul>	事業所開設に伴い策定した理念・基本方針を掲示してケア実践上の原点としている。職員は理念に沿った年間目標を設定・掲示して職員間で共有し、管理者と半期毎の個人面談で達成度を検証している。朝の申し送りで日勤職員が当日の支援目標も発表している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議を通じて地域の方に利用者の様子などお伝えしている。地域の方からは行事の情報などを頂き参加している。(とんど、盆踊り)</li> <li>地域の清掃活動にも参加し、地域の一員としての役割を果たしている。</li> </ul>	コロナ禍の緩和により、散歩・ドライブ・近隣の清掃活動・盆踊り他、地域行事等に参加している。又、家族の面会・運営推進会議への参加・地域敬老会への参加案内・野菜の訪問販売等、相互交流もある。地域小学校との福祉教育を通じた交流や秋祭りの神輿の訪問等、世代間の交流もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症アドバイザー、キャラバンメイトを配置している。</li> <li>キャラバンメイトの活動として定例会への参加や、認知症サポーター養成講座で地域の小学校を訪問している。</li> </ul>		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議録を作成し、運営推進会議の内容を全ての職員が確認できるようにしている。</li> <li>消防団の方から頂いた助言を火災訓練時や災害訓練時等で共有するようにしている。</li> </ul>	会議は認知症家族の会、地域女性会、市・地域包括支援センター職員、時に家族代表、消防団長等が参加している。コロナ禍での面会、事故・身体拘束状況等の報告や梅雨の前には消防団長から水害対策の助言を得ている。又、参加出来ない家族との情報共有を図るべく議事録を送付している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議(メンバーに市の担当者が在籍)や、地域密着型連絡会(2か月に1回)に出席し、市の担当者との意見交換や情報の提供、要望があれば伝えるようにしている。</li> </ul>	市・地域包括支援センター職員が運営推進会議に参加し情報交換をしている。市担当者と日頃から相談・報告や行政主催の研修会での情報共有、地域密着型サービス事業所連絡会への参加等を通して連携に努めている。又、認知症理解を啓発すべく地域小学校の福祉教育にも協力している。	

自己評価	外部評価	項目( ひだまり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>・年2回研修を実施し、全職員が理解しケアに活かせるようにしている。命の危険につながるような場合はご家族、主治医と検討し、了承を得て安全確保のために窓の施錠や柵の設置を行うことがあるが必要最低限とするようその都度話し合いを行っている。</p>	<p>隔月の身体拘束適正化委員会や年2回の研修会等を通して職員は「拘束をしない」必要性を認識し、具体的なケアの中で実践を重ね、運営推進会議の中で状況を報告している。日中は玄関を施錠せず、センサーを設置し見守りで対応している。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者のご自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>・研修への参加により高齢者虐待に関して学ぶ機会を持っている。また、参加した職員は施設内での研修を開催し他の職員に周知伝達をしている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるような支援している。</p>	<p>・研修への参加、また参加した職員による伝達研修を行っている。担当者会議ではご家族に説明したり、職員間では権利擁護を意識したカンファレンスを行うようにしている。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・契約時には十分な時間を取って入居者や家族に説明を行い、不明な点が無いように配慮している。</p>		
10	6	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・介護保険更新時や状態に変化のあった時など、カンファレンスを実施してご家族のご意見やご希望を聞かせて頂いている。</p> <p>・入居者からは、日常の会話や行動の中から要望を汲み取ることで、カンファレンスを行い適時対応、実施できるようにしている。</p>	<p>家族とは面会時・担当者会議・電話や様々な連絡手段等で管理者や職員が要望を把握する様に努めており、ケア記録・経過記録に記録し職員間で共有して迅速な対応に努めている。家族からの面会希望に応えた結果、最近土・日曜にも面会可能となった経緯がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目( ひだまり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・毎朝のミーティングやカンファレンスで職員が意見を出せるようにしている。また個人面談を行うなど日頃からコミュニケーションを図っている。</p>	<p>毎朝の申し送り、定期的ユニット会議、管理者との年2回又は随時の個別面談等で意見を聞く機会を設け、介護方法・業務上の提案や職員目標の進捗状況等に対する支援体制を採っている。職員提案により、利用者が食べ易く、職員も調理しやすくなるよう、圧力鍋を購入した経緯がある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・年2回の個人面談、その他必要に応じ面談を行い職員の思いや問題点を把握し、働きやすい職場環境に努めている。 ・ノーリフティングケアの実践も継続している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>・代表者は職員一人ひとりのスキルを把握し、職員に応じた言葉かけや指導に努めている。また、法人内外の研修参加の機会を設け支援を行なっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>・法人の代表は、多職種連携等研修会の情報を提供し、研修会に参加できるように支援してくれている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>・利用前より面会、聞き取りを行い、入居に当たって本人の要望、不安、生活歴等を把握し、本人の望むことを少しでも可能に出来るように、環境を整えることで安心できよりよい関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( ひだまり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居前より家族と十分話し合いを行い、不安や要望などを伺い準備を行なっている。</li> <li>・担当職員を決め家族とコミュニケーションを図り、家族の希望に沿えるような支援を行っている。</li> </ul>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居前のご本人、ご家族からの情報収集を細かく行うことで、必要とされる支援が何かを考え、他のサービス利用も含め対応に努めている。</li> </ul>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何事も利用者中心に行い、コミュニケーションを図り、一緒に過ごす時間を大切にしている。</li> <li>・利用者同士の支えあう場面や、気遣いが引き出せるように支援をしている。</li> </ul>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面会や外出時の家族の役割を計画書に盛り込み、一緒に本人の力になれるよう関係を築いている。</li> <li>・サービス担当者会議等を通じて情報を共有し、共に支えていく関係づくりに努めている。</li> </ul>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行きたい場所をお聞きしながら、付き添いや送迎の支援を行なっている。</li> <li>・行きつけの場所や知人、家族・親族との関係が途切れないよう出先での交流、面会や電話対応等を支援している。</li> </ul>	<p>「訪問しやすい事業所・地域との絆」を重視し、現在は感染対策を施した上で玄関での面会を可能としている。又、電話・手紙のやり取りの他、店・受診・墓参り・外食・尾関山へ紅葉狩りドライブ等、馴染みの場所で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様に支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( ひだまり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>・入居者同士の関係を把握し、お互いに声を掛け合って生活できるようその時の表情や思いに寄り添いながら、周囲との交流ができるよう配慮している。一人で過ごす時間を大切にしながら、孤立しないよう職員が橋渡しになることで関係が築けるように支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>・利用終了後も、ご本人とご家族の相談や要望があれば協力し、その都度必要に応じて相談や支援に努め、関係性を大切にしている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>・ご本人の言葉に耳を傾けるように努めている。日々の生活の中で一人ひとりの思いや、ニーズや課題を把握し、職員同士で共有している。ご本人の思いが表情、言動、しぐさ等から汲み取れるよう日々の関わりを大切にしている。</p>	<p>職員は利用者と一緒に話さず中思いを汲み取り、ケア記録・カンファレンス・個別ケアマニュアル・「入居者活動表」に反映する等、思いの共有に努めている。午後になると鞆を持って落ち着きがなくなる利用者に対し、担当職員がその方の地元の馴染みの店に同行してお菓子を買い、落ち着いた例もある。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>・ご家族や関係者から話を伺ったり、ご本人との会話を通してその方の習慣や生活歴をしっかりと把握し、アセスメントに記入するようにしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>・毎日一人ひとりの生活の現状を記録し把握に努めている。日々の関わりの中でその方の心身の状態や、ペースに合わせた生活、活動を検討している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( ひだまり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p><b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b></p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者担当者によるアセスメントや、ご本人ご家族からの情報をもとに計画作成担当者が計画書を作成し、ユニットカンファレンスで目標や内容を共有している。</li> <li>毎月担当職員がモニタリングを実施し、課題があればカンファレンスを行っている。</li> </ul>	<p>介護計画原案を適宜担当者会議で検討し、家族の参加・同意を得て本案としている。利用者担当職員が毎月モニタリングを行い、計画作成担当者が1年を基本に計画を見直している。それに基づき個別ケアマニュアルを作成・更新をしている。「入居者活動表」も活用した立案に努めている。</p>	
27		<p><b>○個別の記録と実践への反映</b></p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の生活、ケアの様子やケアの実践、結果、気づき等を個別記録に記入し職員間で情報を共有している。カンファレンス時にも活用し参照している。</li> </ul>		
28		<p><b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b></p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの状況に合ったサービスや支援について考え対応し、その時々生まれ出るニーズに対して法人全体でバックアップする体制をとっている。</li> </ul>		
29		<p><b>○地域資源との協働</b></p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>その方にとっての地域とは何かを考え、把握するように務めている。感染症の流行の為、現在は個別や少人数での地域への外出を行っている。ヘアカットや地元野菜販売の方に来ていただき、交流を持って頂いたり入居者の方々の生活を一緒に支えて頂いている。</li> </ul>		
30	11	<p><b>○かかりつけ医の受診支援</b></p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご本人、ご家族などの希望を聞きながら、希望されるかかりつけ医と事業所で連携を図り、治療や服薬、受診等の適切な医療が定期的に受けられるよう支援を行っている。</li> </ul>	<p>利用前の主治医の受診継続も可能だが、全ての利用者は協力医を主治医としている。協力医から各利用者月に2回の訪問診療もある。協力歯科医・専門医の受診は家族又は事業所により行われている。協力医の看護師がほぼ毎日来訪し、利用者の健康管理について適宜支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( ひだまり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b>  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の携帯電話を使用し、24時間連絡が取れる体制を整えている。</li> <li>・状態の変化や内服等について相談ができる体制を整えている。</li> </ul>		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b>  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院時に医療機関に情報の提供をしたり、相談があれば対応するようにしている。</li> <li>・家族と一緒に病状説明等に立会い、方針についても検討するようにしている。</li> </ul>		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b>  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居時に看取りの対応について家族に事業所のできる事を説明し利用者、家族の意向を重視した上で支援ができるように、カンファレンス等で主治医・看護師とも情報の共有を行なっている。</li> <li>・最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインに沿った支援に取り組んでいる。</li> </ul>	要望があれば看取りを行う方針である。利用開始時に「重度化した場合における終末期ケアの指針」で説明・了解を得ている。重度化した際には家族・医師等で話し合いを行い、指針に基づき適切な支援を行う方針である。看取りの経験もあり、カンファレンスで事後の振り返りを行っている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b>  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急や応急対応マニュアルを解りやすく作成し、全職員が対応できるように取り組みを行っている。また、定期的に研修を実施している。</li> </ul>		
35	13	<b>○災害対策</b>  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に避難訓練を実施し、利用者も参加されている。また、地域の消防署や消防団とも連携し被害時の避難場所の確認や連絡方法、協力体制等について確認、指導を受けている。災害時を想定し食糧、飲料水などは最低でも3日分の備蓄を行っている。</li> </ul>	事業所は大雨時の浸水想定区域に該当しており、7月には利用者と併設事業所への避難等、定期的に訓練を実施している。各居室には避難誘導に備え、利用者の顔写真・移動手段を記した防災カードを設置している。備蓄整備の他、地域消防団から運営推進会議で適宜助言・指導も受けている。	



自己評価	外部評価	項目( ひだまり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者や家族の立場に立って、一人ひとりにあった声かけや接し方を心掛けている。個別ケアマニュアルを活用し統一した対応が行える様にしている。</li> <li>会話や周りの環境にも配慮しプライバシーの確保に努めている。</li> </ul>	研修で職員の幅広い知識の習得と資質向上を図る体制がある。尊厳に配慮してケアに関わり不適切なケアには気づきを促している。居室扉に暖簾をかけたり、脱衣室では他利用者と会わないようにする等の工夫もある。職員間で情報交換の際も居室番号で伝える等、個人情報にも配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>会話や言葉だけでなく、意思表示が難しい方には表情やしぐさ等からも思いを汲み取り、利用者が選択、決定しやすいように支援をしている。</li> </ul>		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの状態に合わせた対応を心がけている。起床、食事、入浴の時間等利用者の意向や体調に合わせて生活できるように支援している。</li> <li>何事も本人のペースを大事にし、その人らしく落ち着いて暮らしていただけるように支援をしている。</li> </ul>		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>散髪の希望があれば地域の美容院から来て頂いている。</li> <li>一人ひとりのご利用者のこだわりを理解し、添えるように支援をしている。</li> <li>利用者やご家族の希望があれば職員の対応で、白髪染めなども行っている。</li> </ul>		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの嗜好については、聞き取りや摂取状況により把握している。</li> <li>食材の下ごしらえや味付け、盛り付け、食器洗い、食器拭き等は利用者と一緒に協力しながら行っている。</li> </ul>	毎日の献立は利用者の好みも勘案し冷凍食品を利用したり、外部の弁当や副食を提供することもある。お好み焼きの出前、地元料理「泥落とし」や誕生日には職員と外食等、楽しみとなる工夫がある。利用者は食器洗い等を行い、個々の食事環境にも配慮している。	

自己評価	外部評価	項目( ひだまり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者一人ひとりの嗜好、摂取量に合わせた食事を3食提供している。</li> <li>栄養バランスや旬な物を取り入れるなど工夫をしている。</li> <li>水分が一度に沢山飲めない方や水分量が少ない方には、一回の量を少なくし回数を増やすなど飲水できるように対応している。</li> </ul>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食後はうがい、口腔ケアを促し義菌のある方は毎晩ポリデントに浸けて洗浄を行っている。</li> <li>口腔ケアを行うことで、誤嚥性肺炎やオーラルフレイルの予防に努めている。</li> </ul>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの排泄リズムを把握し、その方に合わせた介助を行っている。</li> <li>残存能力(できる事)の維持を図るよう、できることはご自分でして頂くようにしている。</li> </ul>	<p>排泄管理表でパターンを把握し、トイレ誘導を基本としている。夜間は紙おむつ、昼間は紙・布パンツの着用や手すり位置の調整等、利用者の状態に合わせた自立支援を行っている。夜間排泄時の転倒防止の為、ポータブルトイレを設置することもある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>その方に合わせた排便コントロールを行い、排便の確認を行っている。</li> <li>センナ茶の提供や水分摂取、適度な運動、腹部マッサージを行い排便を促すよう取り組んでいる。</li> </ul>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早い順番で入りたい方、ゆっくり湯船に浸かりたい方、介助が必要な方など、その方に合わせ安心して気持ちよく入浴していただけるようにしている。</li> </ul>	<p>週2回の入浴が基本だが、利用者の体調や入浴習慣に合わせ、好みの湯温や時間等、柔軟に対応している。利用者の重度化に伴い、体の負担を考慮してシャワー浴や足浴で対応したり、寛げるよう個人専用の保湿クリームの使用や冬至に柚子湯を提供することもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目( ひだまり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人の意向に沿った環境整備を行っている。</li> <li>・居室でゆっくりと安心して過ごせる空間を作って夜間安眠していただけるように取り組んでいる。室温や湿度にも気を付けている。</li> </ul>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬局(薬剤師)に相談できる体制が整っている。</li> <li>・薬の目的や用法用量の把握に努め、確実な服薬介助を行っている。</li> <li>・副作用などの情報も頂き状態の変化を早期発見できるように努めている。</li> </ul>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの力を活かせるような役割を提供できるように取り組んでいる。</li> <li>・行事があるときは皆さんに楽しんでいただけるように支援している。</li> </ul>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気の良い日には外の空気に触れていただけるよう散歩や花の水やりに出ている。</li> <li>・希望に応じて自宅や銀行、墓参りなどへ行く支援を個別に行っている。</li> </ul>	<p>コロナ禍の緩和により、天候が良ければ近隣の散歩、とんど祭り・盆踊り等の地域行事、季節行事として紅葉狩りドライブ等、普段は行けないような場所で「非日常」を楽しんでいる。又、職員と独り住まいの自宅を訪れ鍵を開けて安心されたり、馴染みの店に買い物に行く等、個別支援も行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり金など金銭は施設で管理しているが、利用者が必要な時にはお金を使えるようにしている。財布を持たれている方に関しては、ご自身で管理することが出来るように支援している。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目( ひだまり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人が希望された場合、速やかに電話が使えるように対応している。</li> <li>・郵便や荷物が届いた時は本人に手渡し、職員と一緒に確認を行ったり、家族の希望で事業所で預かるなど、個々に対応を行っている。</li> </ul>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホールの窓は大きく中庭がよく見える開放感のある設計となっている。玄関や各テーブルには花などを飾り季節を感じて頂けるようにしている。居室へはこまめに訪室し、温度や湿度の調整を行っている。</li> </ul>	<p>木の設えや中庭からの採光で温もりを感じられる様に住環境を工夫している。屋内の花・果実や正月・七夕等、行事の飾り付けや利用者個人の好みの作品を飾り、季節の移ろいが感じられる様配慮している。利用者が洗濯物を干し易い様に竿に高低を付け作業し易くしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内の所々にソファやイスを配置してあり自由に好きな所で過ごせるようにしている。</li> <li>・クッションなども配備し安楽に座って頂けるように配慮している。</li> </ul>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室には使い慣れた小物や家具を、自由に置いて頂けるようにしている。</li> <li>・入居時には、持ってこられる物の配置等をご本人、ご家族と相談しながら部屋作りを行なっている。</li> <li>・掃除方法や配置等も入居者と相談しながら行なっている。</li> </ul>	<p>居室は全室南向きに窓を設置し、ベッド・エアコン等が備え付けられ、鏡台・テレビ等、使い慣れた物や遺影・自作品等、好みの物を持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室、トイレ、風呂場などの場所が分かりやすいように字の大きさや見える高さを工夫した表札や暖簾を掛けている。</li> <li>・ホールの目に付くところに日めくりのカレンダーを設置し、日付がわかるようにしている。カレンダーをめくることがご自分の役割として行っておられる入居者もおられる。</li> </ul>		

V アウトカム項目(ひだまり) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1		<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。</p>	<p>・法人理念を玄関に掲示し事務所にも配置している。面談において個人の立てた目標が実践できているか確認を行なっている。</p>		
2		<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>・個別対応で外出を行っている。その際地域の方や知人とあいさつを交わしたりして交流の機会をもっている。</p>		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>・認知症アドバイザーやキャラバンメイトを配置して、地域の相談窓口として利用頂けるようにしている。</p>		
4		<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>・会議の内容については、議事録として書面に残し全職員が確認を行なっている。</p> <p>・意見があればミーティングを行うなど改善の取組みを行なっている。</p>		
5		<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。</p>	<p>・運営推進会議（メンバーに市の担当者が在籍）や、地域密着型連絡会（2か月に1回）に出席し、市の担当者との意見交換や情報の提供、要望があれば伝えるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6		<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束適正化委員会を2カ月に1度開催し、そこで出た意見は職員に周知、見直しや検討を行っている。居室の施錠についてはご家族や主治医と検討し状況に応じ危険防止のため行うことがあるが、見直しや検討を行い解除した例もある。</li> </ul>		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年研修に参加し、施設内の伝達研修を行い新しい情報を共有している。</li> <li>・職員面談の際に職員の心のケアを行っている。</li> </ul>		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内では毎年研修に参加し、伝達を行い新しい情報を共有するようにしている。</li> <li>・マニュアルの読み返しを各自行うようにしている。</li> </ul>		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関わる職員は、尋ねやすい雰囲気作りやわかりやすい話し方を心がけ、不安や不明点がないように対応している。</li> </ul>		
10		<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族面会時には現状や生活の様子などお伝えし話をする機会を持っている。</li> <li>・ご本人、ご家族から要望があればカンファレンスなどを行ない周知したり、ケアに取り入れるよう検討している。</li> </ul>		



自己評価	外部評価	項目(こもれば)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11		<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・年2回の個人面談を行い、各職員の要望や意見を聞く機会を設けている。また、朝礼やミーティング時にも発言の機会を設けて、意見や要望等も話し合いを行い、その都度改善に努めている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・年2回の個人面談と考課表による、自己評価と他者評価により各職員の思いやスキル、問題等を把握し、働きやすい職場の実現に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>・個々のスキルの把握に努め、研修への参加ができるようにしている。カンファレンスに参加し、ケアの必要性や意味について考える機会を作っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>・法人の代表は、多職種連携等研修会の情報を提供し、研修会に参加できるよう支援してくれている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>・入居前には面談を行い、要望や不安を把握、軽減できるように努め、ケアマネ等の関係機関に聞き取りを実施している。</p> <p>・本人の生活歴や趣味等を知るために、ご自宅への訪問機会を作り、入居後も今までの生活に近い環境作りを行い、関わりが持てるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>・入居前にはご家族の施設見学を行い、不安や要望の把握に努めている。</p> <p>・担当職員を決めてご家族へ個別に電話等で迅速に連絡を図り、相談しやすい関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>・入居前に利用者、家族等の情報収集を行い、必要とされる支援を考察して、その他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>・利用者と親密な関係作りを構築する為に、コミュニケーションを交えながら活動や行事を行ったり、利用者同士が支え合いながら生活できるように支援している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>・家族等と親密な関係作りを構築する為に随時、利用者の様子を連絡や相談、報告を交えながら認知症の理解や受け入れができるように支援している。</p>		
20		<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>利用者の希望を聞きながら自宅や行きつけのお店、墓参り、買い物等にお連れしている。またご家族や親しい方との面会が継続できるようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	・利用者間の関係の理解に努め、利用者が孤立せず、それぞれの役割を通じて良い関係が持てるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	・利用が終了された場合でもご家族からの相談に応じ、必要であれば関係機関との連携を図って支援を続けている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23		○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・入居者、ご家族とカンファレンスを行い、思いや希望意向の把握に努めている。ご本人の生活歴等からも思いを汲み取るようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	・入居前や入居後に自宅を訪問したり、本人、家族、関係者に聞き取りを実施し、個人の特徴、性格、生活歴、嗜好等を把握し、なじみの暮らしに近づけるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	・生活リズムを把握するために24時間シートを活用している。ケア方法が把握しやすいように、個別ケアマニュアルを作成し、カンファレンスを実施している。ケア内容に変更があればその都度カンファレンスを行い、現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれば)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26		<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者ごとに担当職員がおり、担当職員を中心にアセスメントや毎月のモニタリングを行っている。その内容に基づいて計画書を作成、見直しを行っている。カンファレンスで介護計画に沿って実施できているか振り返りながら実践に繋げている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>・入居者の日々の様子や変化、気づき等細かく個別ケア表に記録している。記録を確認、共有することで、ケアの統一や見直し等に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>・本人や家族の状況に合わせて、ご本人や家族が安心されるような支援方法をカンファレンスにて検討し、必要に応じて報告、法人全体で支援する体制を整えている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>・地域の資源を把握するとともに、訪問によるヘアカット、ヤクルト販売、地元の野菜販売の方の協力を得ながら施設内でも地域の方と楽しく関わる機会を持つようにしている。</p>		
30		<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>・月に2度の訪問診療があり、利用者の状態を主治医に報告、相談することができている。必要に応じて往診を受けたり、病院受診の支援を行っている。日頃から利用者の気になる事等あれば、メールやFAXで相談し指示を受けられる体制をとっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>・医療とはいつでも連絡が取れる体制となっている。利用者に体調の変化等あればすみやかに連絡、相談し適切な治療やアドバイスが受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・入院時は医療機関に情報提供をしたり、相談があれば対応している。早期退院の相談についてもできる限り対応している。病状説明など家族と同席するようにしている。</p>		
33		<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>・重度化した場合や終末期になられた利用者の場合、医療、家族、施設と話し合いを行い、本人、家族の思いを確認しながら対応方針の共有を図っている。その上で職員全体で話し合い家族や医療と連携を図りながらチームで支援している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>・利用者の急変や事故対応に対して落ち着いて対応できるようにしている。緊急時対応の研修への参加、マニュアルの作成、確認を行っている。</p>		
35		<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>・災害時の対応に関する研修に参加し、職員間で共有、防火訓練を行い施設内での振り返りを行っている。地域との協力体制を築いており、災害発生時には法人全体で協力し合い、避難できるようにしている。日頃から災害について意識し備蓄や避難準備物の管理を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36		○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	・一人ひとりの人格を尊重した対応を行っている。全職員が研修等を通じて利用者の誇りやプライバシー確保について具体的に確認しあっている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	・入居者やご家族の思いや希望を確認し、希望に沿った支援ができるようしている。 ・日々の活動等も、本人が選択できる場面では希望を聞き支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	・入居者それぞれのペースで生活して頂いている。やりたい活動や、それぞれの能力に応じた活動を声掛け・実践し、穏やかに日常を送っていただけるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	・朝の離床時には更衣をしてもらい、それぞれの希望に応じて洗面後化粧水、乳液をつける、髪を整える等できるよう対応している。服も自分の好みの物を選んでいただけるように、スタッフと一緒に確認しながら選ぶなど配慮している。		
40		○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	・野菜の皮むきや盛り付け、食事をするテーブルを拭いてもらう等、それぞれの能力に応じた食事準備をスタッフと一緒に、食事を楽しんでもらえるよう支援している。誕生日にはその人の希望される料理を伺い、提供するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス, 水分量が一 日を通じて確保できるよう, 一人ひと りの状態や力, 習慣に応じた支援をし ている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの状態、様子を把握しながら一日を通して必要な栄養や水分が摂れるよう食事形態や量を職員全員で統一して支援している。</li> <li>水分が摂りにくい方にはゼリー、アイス、好みの飲み物など提供している。水分制限のある方については配慮を行っている。</li> </ul>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で出来る方はご自身で行って頂き、準備や支援が必要な方はその方に合わせて対応している。誤嚥性肺炎の予防のために食前のうがいも行っている。</li> </ul>		
43		<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン, 習 慣を活かして, トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレで排泄が出来る様支援、介助を行っている。夜間オムツ使用されている方でも、日中は紙パンツや布パンツで過ごされトイレへ誘導するなど自立を促すことに取り組んでいる。</li> </ul>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の生活歴等から便秘の原因を理解し、食べ物や飲み物などで排便を促している。また朝夕のテレビ体操、歩行運動、立位の働きかけや(午前、午後)腹部のマッサージ等個別に行っている。必要な時には医療に相談している。</li> </ul>		
45		<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように, 職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に, 個々に応じた入浴の支援をしてい る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入浴の方法や希望等はカンファレンスにて職員間で共有し、その方の状況に適した入浴介助ができるよう支援している。気分が乗らない方は時間を置いて声掛けをするなどご本人のタイミングに合わせた対応を行っている</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内の気温、湿度、明るさ等に配慮、気持ち良く寝れるよう支援している。睡眠リズムを把握し午睡の時間を取り入れるなど個別に対応している。夜間寝れない時が続くようであれば原因を考え対応している。</li> </ul>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬の目的や用法を理解し、日付や名前の確認、確実に飲まれたか確認を行っている。一人ひとりの状態に変調があれば医療に報告し連携を図っている。</li> </ul>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの活動表を作成して出来る事を把握し、持っておられる力を發揮して貰えるように支援している。</li> <li>・家族とも相談しながら、ノンアルコールビールや養命酒の提供など今までの習慣や楽しみが継続できるようにしている</li> </ul>		
49		<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の希望を把握し外出支援を行っている。家族の付き添いで病院受診に行かれたり、職員の運転でドライブや墓参り、屋外散歩等を行っている</li> </ul>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族からお金をお預りして欲しい物を購入したり、代金を自分で支払ったりできる様支援している。</li> <li>・お財布や現金を持つことが安心につながる方には自己管理ができるよう支援するなど個別に対応を行っている</li> </ul>		



自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>・手紙や電話は家族や大切な人との関係をつなぐ重要な手段なので、郵便物や宅配便は本人に手渡し、職員と一緒に確認を行っている。本人が直接お礼の電話をかけられる様に支援し、家族や知人との繋がりが途切れないようにしている。手紙を書かれた時は投函できるように支援している。</p>		
52		<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>・共有の空間は清潔に気を付けアルコール消毒を徹底している。温度、湿度調整も行っている。ホールの窓から外の天気や花を見て季節を感じて頂くことができる。落ち着いて食事ができるよう席の配置も考慮している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>・共有スペースの所々にソファやイスを配置しているため、外の景色を眺めたり、一人で静かに過ごしたい時、歩行運動の途中で休憩されるなど思い思いに使用されている。利用される方に合わせて空間作りを心がけている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>・入居時には使い慣れた家具や思い入れのある物を持参して頂き、本人の動線も考慮しながら写真や好みの絵、自作の品を飾られる等、その方に合わせて対応を行っている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>・一人ひとりの身体機能や生活習慣、こだわりを日常生活の中で把握し物の配置や安全な環境づくりに努めている。洗濯物を干す場合パイプハンガーを使用(高さ調整)することで各利用者が衣類を自分で干すことができおられる。</p>		

V アウトカム項目( こもれび ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 ふれあいの家 えんや

作成日 令和5年10月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ケアに対する職員の個人目標はあるが、事業所としての目標の設定が行えていなかった。	法人理念がケアの根拠になっているということを職員が意識できるようになる。	法人理念に沿った事業所としての年間目標をたてる。達成度を評価し、次の目標をたてていく。	年内に目標を設定する。 6月、12月の個人面談時に評価する。
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。